

行政視察報告書

中核市移行特別委員会行政視察		令和元年8月28日(水)～29日(木)
視察先 及び 視察事項	・令和元年8月28日(水)	1 中核市移行について
	山形県山形市	ア 中核市移行の経緯（議会の対応含む）
		（ア） 中核市移行の目的、メリット
		（イ） 移行に伴う組織、推進体制、施設並びに専門職員の確保、育成
		（ウ） 県との協議・調整・連携における課題
		（エ） 移行に伴う経費と財源措置の精査
		（オ） 市民への周知、説明に対する課題と対応（合意形成）
		イ 市の特徴的な施策について
		ウ 保健所関連施設の設置について（保健所現地視察含む）
		（ア） 設置の概要
		（イ） 既存施設（保健センター等）との一元化の対応と今後の課題
		（ウ） 関係団体との調整・対応
		（エ） 市保健所の将来像
		（オ） 食肉衛生検査施設設置の概要と課題
	・令和元年8月29日(木)	1 中核市移行について
	埼玉県川口市	ア 中核市移行の経緯（議会の対応含む）
		（ア） 中核市移行の目的、メリット
		（イ） 移行に伴う組織、推進体制、施設並びに専門職員の確保、育成
		（ウ） 県との協議・調整・連携における課題
		（エ） 移行に伴う経費と財源措置の精査
		（オ） 市民への周知、説明に対する課題と対応（合意形成）
		イ 市の特徴的な施策について
		ウ 保健所関連施設の設置について（保健所現地視察含む）
	（ア） 設置の概要	

	(イ) 県保健所併設における課題と対応
	(ロ) 保健センターとの一体的な業務提供と 今後の課題
	(エ) 関係団体との調整・対応
	(オ) 市保健所の将来像

【山形市】

平成 27 年 2 月に中核市移行の方針を決定し、4 年間に渡り検討を重ね平成 31 年 4 月に中核市移行となった。移行への判断は、市民福祉の向上が図られること、「健康医療先進都市」の実現を促進するため、圏域のリーダーとしての役割を果たすために行った。メリットとしては、保健衛生業務の強化、市民サービスのレベルアップ、都市のイメージアップ、事務のスピードアップ、行政の透明性のアップを挙げている。移行に向けて、県との協議には難しい局面もあったとのこと。

移行に伴う経費と財源措置については不足なく措置されると見込んでいるとのこと。最大の関心であったが、一定程度不安感は解消された。

福祉、保健、衛生、動物愛護、環境、まちづくり、教育等の各分野で施策の充実強化が図られている。

【川口市】

平成 26 年 2 月中核市移行方針を表明、山形市と同様に 4 年間の検討を経て平成 30 年 4 月に移行。市民サービスのスピードアップや、きめ細かな行政サービスの提供が可能となるとのこと、また、市独自の取り組みの展開につながるということで移行を決断。一例として、保健所における医療安全相談等の件数が県では 150 件であったが市では 540 件へと急激に増加している。市民が気軽に相談できる環境が整備されたと言える。

移行後 1 年経過する中で、平成 30 年度決算ベースでは黒字見込みということで、財政面の不安がさらに解消された。

福祉、保健、衛生分野で施策の充実強化が図られていることが分かった。貧困ビジネスについての規制については、県がガイドラインによる指導であったのに対し、市では条例化もされ一歩踏み込んだ具体的な規制強化が図られている。

【考察】

今回視察の 2 市について、財政面と施策の展開について何れも不安を解消できる内容であった。本市として着実に移行への検討を重ねていって欲しいと考える。

令和元年 10 月 22 日

松本市議会議長 村上幸雄 様

中核市移行特別委員

近藤晴彦

